

## 交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : SOAS (University of London)  
留学先での所属学部・研究科 : Music Department  
留学先での在籍身分 : Exchange student  
期間 : 2015 年 7 月～ 2016 年 5 月  
神戸大学での所属学部・研究科 : 発達科学部人間表現学科  
学年（出発時） : 4  
本報告書記入日 : 2016 年 5 月 29 日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 9 月 21 日

学年終了月日 : 5 月 31 日

学期 :

①9 月 21 日～ 12 月 11 日

②1 月 4 日～ 3 月 18 日

③5 月 1 日～ 5 月 31 日

④\_\_\_\_月\_\_\_\_日～\_\_\_\_月\_\_\_\_日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

アジア、アフリカ地域も含め、留学生が多い。交換留学生に人気のある分野は、開発学や人類学。

#### 1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

チユーター制度がある。

勉学面でのサポート :

チユーター制度がある。

精神面でのサポート :

利用していない。

住居・生活面でのサポート：

特になし

課外活動のサポート：

キャリアセンターでインターンシップについて相談できる。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい

いいえ

## 2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

大学指定のDinwiddie Houseは、トイレとシャワー付きの一人部屋で、キッチンは5~7人とシェアする。シャワーヘッドは動かせず、床の仕切りもないため、床がびしょびしょになるため、サンダルを持っていくとよい。バス停や駅に近く便利である。頻繁に火災アラームが鳴り大変うるさいが、それ以外は特に不満はなし。

## 3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

NHS

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：  日本から持参した  現地で購入した  保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた  接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

公共のものを利用(Keysurf)

大学でのPCの使用の可否： 使用できた  使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館。日本語設定は可能。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

つくっていない。カードで対応。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

大きなカルチャーショックは感じなかった。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

地域の音楽団体や、ボランティア活動に参加したため、多くの世代の方と交流する機会は多かった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

SOASのクレズマーバンド、ロンドンのジプシーオーケストラに所属、またサウスバンクセンターにおいてキッズオーケストラ関連イベントのボランティアスタッフをした。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

アートや音楽イベントは先進的なものが多く、また学生割引も充実しているため低価格で楽しめる。大学近辺のCornway Hallでは、毎週無料の演奏会が開催されているためおすすめである。SOASでも定期的にworld musicの演奏会が開催される。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

4月頃からエントリーシートを書き、手書きのものは日本に送付した。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO \_\_\_\_\_, 10万円 円／月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

地球の歩き方。Pandora Journey UK (サイト)。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

百均の物干し(洗濯バサミが複数付いているもの)

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：( ) 点 → 帰国後：( ) 点

語学力に関しては、講義を受けていただけでは伸びないと感じたため、BBCの番組を見たり、ネイティブのイギリス人と話す機会を積極的に増やすようにした。その結果スピーチング力とリスニング力において大きな成長を感じた。また、SOASは課題が多く大変であるが、すべての課題に非常に丁寧なフィードバックをもらえるため、教授との意見交換もしやすく、一つ一つの課題をこなす中で学問理解や考察力への成長を感じた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

大きなトラブルはなかった。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

VISAの複雑な手続き等において丁寧に対応していただき非常に助かった。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。他国文化や他民族文化、社会学や人類学に関心がある学生には非常に適した留学先である。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 4
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かったですと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

**授業について**

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1	Ethnomusicology	Keith Howard	2h	0.5	15	書籍批評一つと、エッセイ一つ。期末に論述テストあり。
2	Sounds and Culture 1	Racchel Harris etc.	2h	0.5	20	エッセイ一つと、リスニングテスト。
3	Sounds and Culture 2	Racchel Harris	2h	0.5	20	エッセイ一つと、リスニングテスト。
4	Pop and Politics in East Asia	Racchel Harris etc.	2h	0.5	30	エッセイ二つ。
5	Performane 1b	Kadialy	2h	0.5	10	アフリカの民族楽器コラ。練習批評と実技試験。
6	Gender and Music	Rowan Peace	2h	0.5	30	エッセイ一つと、フィールドワーク一つ。
7	Music Tradition of East Asia	Rowan Peace etc.	2h	0.5	15	エッセイ二つ。
8	The Music Business	Casper Melville	2h	0.5	40	エッセイ二つと、プレゼン一つ。
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

課題に対する教授からのフィードバックが手厚く、意見を交換できるため非常に勉強になる。

**費用について**

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃 13万円(往復)
  - ・住居費：(月額) 10 × (留学月数) 10 ヶ月 = 100万円
  - ・食費： (月額) 5 × (留学月数) 10 ヶ月 = 5 万円
  - ・保険料：13万円
  - ・その他：旅行費、VISA費等
- 合計 200万円 (留学期間全体の費用)

**その他　自由に記入してください。(800字~)**

SOASでの日々は刺激に満ち、非常に充実していました。講義は、社会学や人類学の視点から様々な民族文化や社会事象について考察することができ、具体性を伴い、どれも非常に興味深かったです。課題の量が非常に多いため、留学生、現地の学生ともに常に勉強をしている学生が多いことが印象的でした。試験前には図書館で席を見つけるのが大変であるため、自宅で勉強することも多かったです。しかしながら、時間をかけて取り組んだ課題には、丁寧に評価をしてもらえるためやりがいがあり、自分の関心分野である音楽社会学や音楽民族学についての専門性を深めることができました。しかし、音楽学部の授業はチュートリアルがなかったため、講義と課題をすることに終始してしまい、議論をする機会はありませんでした。そこで、積極的に現地学生と話したり議論を自ら行うことで、英語力向上や授業内容理解に励みました。

同時に、課外活動ではユダヤ音楽のバンドであるクレズマーバンドや、ジプシーオーケストラに所属し、フィドル奏者としてパブや路上、大学等で演奏活動を行う中で多くの音楽に触れ、多くの友人と仲を深めることができました。交換留学生にはSOCIETYに入っていない人も多いですが、何か活動をする中で現地の学生とさらに近づくことができるため、積極的な参加をおすすめします。また、期末には修士課程の学生と中国現代アンサンブルに挑戦する機会にも恵まれ、大学のホールで演奏会を開催することもできました。日本ではできない曲ジャンルや楽器と音楽を奏でた経験は、他国の音楽文化を考える上でも非常に良い経験となりました。

生活面では、ロンドンは多文化都市であり、毎日のようにフェスティバルやマーケットが開催されているため、飽きることはありません。文化施設や音楽ホール、美術館も多く、一年間では足りないと思う程、イベントが充実しています。学生割引という特権を用いて、暇を見つけては様々なイベントに参加しました。毎日は基本的に朝から夜まで勉強に追われるため、息抜きも大切であるかと思います。また、イギリス人も、SOASで出会う学生も、大変親切な人が多く、住みやすく心地よい環境でした。

総合的に、一年間の交換留学は非常に満足のいくものでした。この留学を実現させてくれた親や大学に非常に感謝しています。